

(1)年齢階級別退院患者数

対象期間:2017/04/01~2018/03/31

年齢区分	0~	10~	20~	30~	40~	50~	60~	70~	80~	90~
患者数	0	6	33	135	322	516	1184	1287	449	35

【解説】一般病棟に入院された年齢階級別の退院患者数を示しています。

がんは、40歳以降から徐々に増加し、60歳代、70歳代が1000人を超えています。

	060020xx04x0xx		103	7.22	8.73	0	72.68
	060010xx02x00x		23	5.70	9.52	0	67.74
	060100xx03xxxx		17	5.00	7.21	0	71.88
	060050xx97x0xx		14	7.64	11.44	0	73.07
	060035xx03xxxx		13	5.38	7.37	0	74.54

	060050xx97x0xx		63	11.46	11.44	0	72.89
	060020xx02x0xx		62	16.90	17.27	0	68.10
	060035xx01000x		58	13.00	15.61	0	68.53
	060040xx02x00x		37	18.08	17.49	2.70	66.43
	060050xx02x0xx		27	16.33	15.47	0	64.96

	040040xx99040x		103	14.91	11.99	0	70.80
	040040xx99000x		34	10.56	14.60	8.82	71.97
	040040xx9910xx		33	4.12	3.59	0	69.45
	040040xx9906xx		20	18.40	18.31	0	71.80
	070040xx99x2xx		19	24.74	23.73	10.53	71.58

(3)初発の5大癌のUICC病期分類ならびに再発患者数
対象期間:2017/04/01~2018/03/31

悪性腫瘍分類(UICC TNM分類)第7版使用

5大癌	初発					再発
	stage I	stage II	stage III	stage IV	不明	
胃癌	156	18	25	38	5	15
大腸癌	54	17	90	44	2	22
乳癌	128	68	24	7	0	9
肺癌	74	22	78	122	16	150
肝癌	17	17	10	8	2	86

【解説】5大癌(胃癌、大腸癌、乳癌、肺癌、肝癌)の病期(ステージ)別、初発患者数を示します。
ステージが上がるにつれてがんが進行していることを示しています。
また、「再発」は当センターで初発と診断され、その後再発した患者さんと、他院で初発と診断され、
再発のため当センターを受診した患者さんを合わせた数となっています。

(4)成人市中肺炎の重症度別患者数
対象期間:2017/04/01~2018/03/31

10未満の数値は、-(ハイフン)を記入しています。

重症度	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	-	-	-
中等症	16	20.81	64
重症	-	-	-
超重症	-	-	-
不明	-	-	-

【解説】当センターはがん専門病院のため、肺炎で入院される患者さんは限られています。

(5)脳梗塞の患者数

対象期間:2017/04/01~2018/03/31

ICD10	傷病名	発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
I63\$	脳梗塞	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-

【解説】当センターはがん専門病院のため、肺炎と同様、脳梗塞で入院される患者さんは限られています。

(6) 診療科別主要手術別患者数等(診療科別症例数例上位5位)

対象期間: 2017/04/01~2018/03/31

10未満の数値は、-(ハイフン)を記入しています。

外科

○消化器外科(診療科コード510)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6152	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)(選択的動脈化学塞栓術)	57	1.95	7.49	0	73.32
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	55	3.85	8.60	1.82	67.82
K655-22	腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術)	34	3.38	12.53	0	67.53
K740-22	腹腔鏡下直腸切除・切断術(低位前方切除術)	27	4.19	19.52	3.70	65.15
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	22	6.55	10.82	4.55	65.64

【解説】肝細胞癌に対して行われる「血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 選択的動脈化学塞栓術」が最も多くなっています。また、腹腔鏡下手術に取り組んでいます。

○呼吸器外科(診療科コード160)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K514-21	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(部分切除)	41	2.68	6.76	0	66.12
K514-23	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超える)	34	2.91	9.21	0	66.94
K514-22	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除)	11	2.27	7.18	0	73.55
K5143	肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもの)	-	-	-	-	-
K488-4	胸腔鏡下試験切除術	-	-	-	-	-

【解説】呼吸器外科では、胸腔鏡下手術に積極的に取り組んでいます。

○泌尿器科(診療科コード310)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K80360	膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術)(その他のもの)	47	1.30	7.83	0	74.53
K843-3	腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	37	3.84	15.73	0	67.41
K843	前立腺悪性腫瘍手術	21	3.00	13.00	0	69.52
K830	精巣摘出術	16	1.00	2.38	0	73.69
K773	腎(尿管)悪性腫瘍手術	-	-	-	-	-

【解説】当センターの泌尿器科は、膀胱癌や前立腺癌の治療に力を入れており、膀胱悪性腫瘍手術や腹腔鏡下による前立腺悪性腫瘍手術が多くなっています。

○婦人科(診療科コード330)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K867	子宮頸部(腔部)切除術	63	1.00	1.98	0	35.67
K879	子宮悪性腫瘍手術	63	2.16	10.22	0	58.32
K877	子宮全摘術	48	2.00	8.71	0	52.29
K877-2	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	31	2.03	7.00	0	56.10
K889	子宮附属器悪性腫瘍手術(両側)	29	2.45	9.07	0	56.79

【解説】子宮癌を数多く治療しています。

○乳腺外科(診療科コード111)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K4762	乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わない))	104	2.03	4.49	0	57.85
K4763	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術(腋窩部郭清を伴わない))	87	2.07	6.91	0	57.07
K4765	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術・胸筋切除を併施しない)	41	2.00	9.37	0	56.54
K628	リンパ管吻合術	14	1.00	6.50	0	56.57
K4764	乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴う))	-	-	-	-	-

【解説】当センターの乳腺外科は、「乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わない)」と「乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術(腋窩部郭清を伴わない)」が乳腺外科手術全体の約73%を占めています。

内科

○消化器内科(診療科コード500)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6532	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(早期悪性腫瘍粘膜下層)	102	1.16	5.07	0	72.59
K721-4	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	35	1.17	2.97	0	71.74
K526-22	内視鏡的食道粘膜切除術(早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術)	23	1.00	3.70	0	67.74
K7212	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm以上)	21	1.05	2.33	0	68.19
K6152	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)(選択的動脈化学塞栓術)	14	1.00	5.64	0	73.07

【解説】当センターは、早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術に積極的に取り組み、多数の治療例があります。

○血液内科(診療科コード480)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	88	2.58	31.57	2.27	67.91
K9212ロ	造血幹細胞採取(末梢血幹細胞採取)(自家移植の場合)	-	-	-	-	-
K496-4	胸腔鏡下膿胸腔搔爬術	-	-	-	-	-
K6261	リンパ節摘出術(長径3cm未満)	-	-	-	-	-
K654	内視鏡的消化管止血術	-	-	-	-	-

【解説】血液内科の手術では化学療法のために必要なカテーテル留置が全体の約90%を占めています。

○腫瘍内科(診療科コード011)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	22	0.41	7.45	4.55	65.36
K689	経皮経肝胆管ステント挿入術	-	-	-	-	-
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	-	-	-	-	-
K775	経皮的腎(腎盂)瘻造設術	-	-	-	-	-
K6182	中心静脈注射用植込型カテーテル設置(頭頸部その他)	-	-	-	-	-

【解説】血液内科同様に、化学療法のために必要なカテーテル留置が最も多くなっています。

○呼吸器内科(診療科コード340)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	12	10.67	15.83	8.33	64.25

【解説】呼吸器内科は、化学療法を中心に行っているため、手術件数は少なく、化学療法に必要なカテーテル留置を行っています。

○緩和ケア科(診療科コード640)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	13	35.00	31.77	0	69.31
K6182	中心静脈注射用植込型カテーテル設置(頭頸部その他)	-	-	-	-	-
K726-2	腹腔鏡下人工肛門造設術	-	-	-	-	-
K635	胸水・腹水濾過濃縮再静注法	-	-	-	-	-
K682-2	経皮的胆管ドレナージ術	-	-	-	-	-

【解説】緩和ケアに必要な処置として治療が行われています。

(7)その他(DIC、敗血症、その他の真菌症及び手術・術後の合併症の発症率)

対象期間:2017/04/01~2018/03/31

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発症率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	—	—
		異なる	—	—
180010	敗血症	同一	13	0.32
		異なる	10	0.25
180035	その他の真菌感染症	同一	—	—
		異なる	—	—
180040	手術・処置等の合併症	同一	—	—
		異なる	—	—

【解説】入院した時の疾患と入院後の最も治療した疾患が同じ場合、入院の契機が「同一」となり、当センターはがん専門病院であるため、播種性血管内凝固症候群、敗血症で入院することは少なく、がんの治療またはがんの進行により生じるものです。手術、処置等の合併症としては、造影剤ショック、後出血、吻合部狭窄等があります。